

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0040/100590/05/00		事業の種類		5		
年度	19	事務事業名		私立幼稚園補助事業		作成日		平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		私立幼稚園補助事業		担当部課名		総務課				
政策名		愛着と生きがいを育むまちづくり								
施策名		幼児教育		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規		学校法人補助金交付規則、私立幼稚園補助金交付要綱、私立幼稚園助成補助金交付要綱								
事業の目的	誰のために(具体的に)	私立幼稚園就園児及びその保護者								
	誰(何)を対象として	私立幼稚園設置者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、幼稚園を選ぶ際に市民の選択肢が増え子育てを支援することになる								

2 事業の概要 Do

実施の概要		私立幼稚園補助、私立幼稚園就園奨励補助				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	私立幼稚園在籍人数	人	87	83	86	90
	私立幼稚園就園奨励対象人数	人	1	3	3	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.003	0.003	100.0	0.003	100.0	0.003	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	985,236	739,428	75.1	766,480	103.7	723,408	94.4	
	事業費	1,064,000	1,048,000	98.5	1,092,000	104.2	998,000	91.4	
	合計	2,049,236	1,787,428	87.2	1,858,480	104.0	1,721,408	92.6	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,049,236	1,787,428	87.2	1,858,480	104.0	1,721,408	92.6	
	合計	2,049,236	1,787,428	87.2	1,858,480	104.0	1,721,408	92.6	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		私立幼稚園補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	87	83	95.4	86	103.6			
指標名2		私立幼稚園就園奨励補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	7	7	100.0	4	57.1	4	100.0	
	実績	1	3	300.0	3	100.0			

【効率性】

指標名1		園児一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費＋人件費)／補助対象園児数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	23,554	21,535	91.4	21,610	100.3	19,126	88.5	

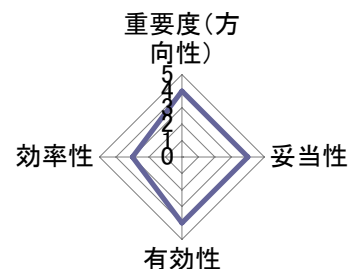
指標名2		補助金額(合計)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	20,000	52,000	260.0	60,000	115.4	98,000	163.3	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため妥当である	4	4
	市の関与の妥当性	補助事業を通して私立幼稚園の教育条件の維持、向上を図り優秀な人材が育成されることにより、市民を始めとする第三者に受益が及ぶと考える		
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、私立幼稚園が健全な経営をすることにより、市民の選択肢が増えることが成果と考える	4	4
	市民サービス	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため有効である		
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な運営を図るという意味で適正であると考え、補助単価の見直しを必要がある	3	3
	手段の最適性	現行の実手法が最適である		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な運営を図るという意味で適正であると考え、補助単価の見直しを必要がある



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な運営を図るという意味で適正であると考え、補助単価の見直しをする
H19→H20予算反映額		△200千円

(2) 20年度の実施方針

私立幼稚園の健全な運営を図るという意味で適正であると考え、補助単価の見直しをする

検討の有無	—
総合指標	21